

そうふがん  
**嬬婦岩の火山活動解説資料（令和5年10月）**

気象庁地震火山部  
 火山監視・警報センター

今期間、噴火は認められず、海上保安庁が4日、11日及び20日に実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺で変色水域等の特異事象は認められませんでした。また、2日以降、嬬婦岩付近を震源とする地震活動に高まりがみられていましたが、10日以降、低調に推移しています。  
 噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

### ・噴火や変色水など表面現象の状況（図1、図5）

東京の南約660kmに位置する活火山である嬬婦岩（図2）では今期間、気象衛星ひまわりによる観測で噴火は認められませんでした。また、海上保安庁が4日、11日に実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺で変色水域などの特異事象は認められませんでした。

なお、海上保安庁が20日に実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺で変色水域などの特異事象は認められませんでした。伊豆鳥島（図2）の西方約50kmの海域において、軽石とみられる浮遊物が南北方向に約80kmにわたり潮目に沿って点在していることが確認されました。この軽石の発生源は現時点では不明です。

### ・地震の発生状況（図4）

2日から9日にかけて、嬬婦岩付近を震源\*とする地震活動に高まりがみられました。3日に発生したマグニチュード6.4（暫定値）の地震では、小笠原村父島西町、小笠原村父島三日月山及び小笠原村母島で震度1が観測されました。また、5日に発生したマグニチュード6.5（暫定値）の地震では八丈島で、9日に発生したマグニチュード不明（速報値）の地震では、伊豆・小笠原諸島、千葉県から四国、九州にかけての太平洋沿岸で津波が観測されました。嬬婦岩付近を震源とする地震活動は、10日以降、低調に推移しています。

\*気象庁が地震情報で使用する震央地名では「鳥島近海」となります。



図1 嬬婦岩 20日の状況

- ・4日、11日及び20日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、嬬婦岩周辺で変色水域などの特異事象は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。



図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布及び孀婦岩の位置図  
孀婦岩は、東京の南約660km、伊豆鳥島の南方76kmに位置します。

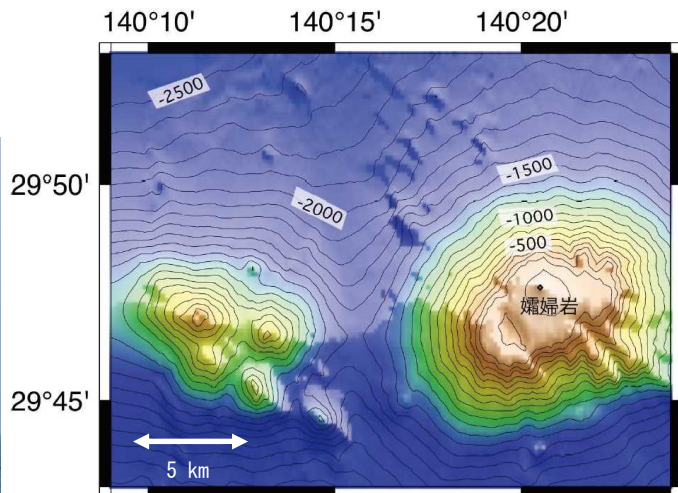


図3 孀婦岩（左図）及び付近の海底地形図（右図）

孀婦岩は標高99mの孤立突岩であり、位置は北緯29度48分、東経140度21分です。また、孀婦岩を頂部とする地塊は東西約10km離れた比高1,500~2,000mの2つの山体から構成されています。

（写真、海底地形図は海上保安庁海洋情報部海域火山データベース（<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/kaiyo17-2.htm>）を引用し、加筆しています。また、孀婦岩の標高及び位置情報は気象庁（編）日本活火山総覧（第4版）から引用しています。）

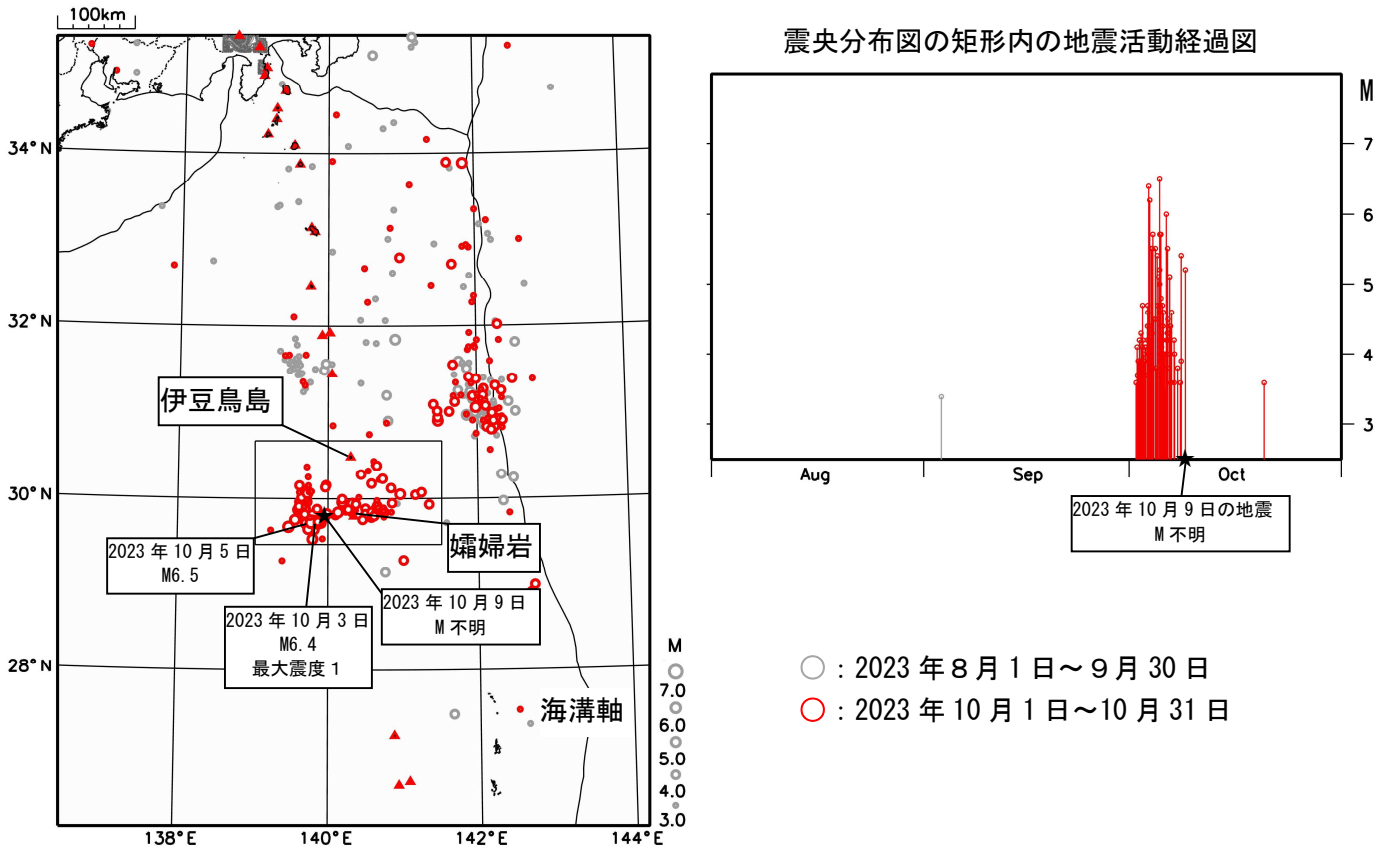


図4 嬬婦岩 広域地震観測網によって決定した震央分布（左図）及び嬬婦岩周辺（左図の矩形領域）の地震活動経過図（2023年8月1日～2023年10月31日）

マグニチュード3.0以上の地震について示しています。

図中の震源要素には暫定値及び速報値が含まれており、後日変更することがあります。

左図の矩形領域内で発生した地震のうち、震度1以上を観測または津波を観測した地震については、発生日及びマグニチュード（最大震度）を示しています。

- ・ 3日に発生した地震で、小笠原村父島西町、小笠原村父島三日月山及び小笠原村母島で震度1が観測されました。
- ・ 5日に発生した地震では八丈島で、9日に発生した地震では伊豆・小笠原諸島、千葉県から四国、九州にかけての太平洋沿岸で津波が観測されました。
- ・ 10日以降、嬬婦岩周辺の地震活動は低調に推移しています。

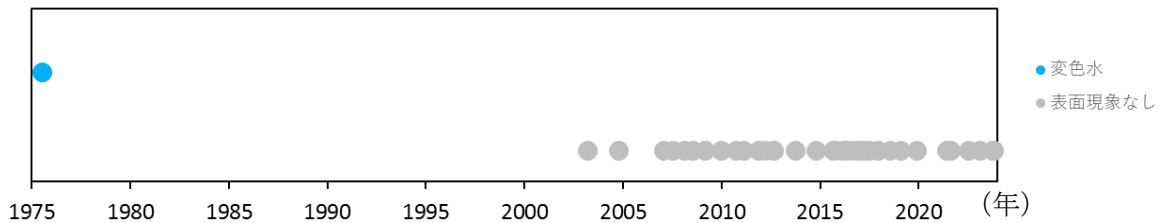


図5 嬬婦岩 1975年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水が認められた観測、●は変色水域等特異事象が認められなかった観測を示します。

（海上保安庁海洋情報部海域火山データベース（<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/kaiyo17-2.htm>）に基づき作成しています。）

- ・ 1975年に嬬婦岩の北方約500mに緑色の変色水が認められています。
- ・ 2003年以降、2023年10月20日までに海上保安庁が実施した観測では、嬬婦岩周辺では変色水域等の特異事象は認められませんでした。
- ・ 有史以降、噴火発生記録はありません。